

ゴールデンウィークに備え 更なる防疫対策の徹底を!

今月末からゴールデンウィークを迎えるに当たり、日本から海外への渡航者が増えることから、我が国への家畜伝染病の病原体が侵入・まん延するリスクが高くなると考えられます。

また、訪日外国人旅行者数が年々増加していますが、東アジア地域では口蹄疫の発生が継続しており、アフリカ豚コレラもロシアで今年の3月に発生しています。

以下のとおり、対策を徹底しましょう!

★農場の従業員も含めた畜産関係者は、口蹄疫等の発生国への渡航を可能な限り自粛しましょう!

※万が一発生国へ渡航する際、以下の点に注意願います。

(1) 渡航に当たっての注意

- ① 農場やと畜場などの畜産施設に立ち入らないこと。
- ② 海外で動物との不用意な接触を避けること。
- ③ 肉製品等を日本へ持ち帰らないこと。
- ④ 帰国の際には、到着した最寄りの動物検疫所カウンターへ立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること。



(2) 帰国後の注意

- ① 帰国後1週間、必要がある場合を除き農場に立ち入らないこと。
- ② 海外で使用した衣服及び靴を農場に持ち込まないこと。

(3) 農場への病原体の侵入防止について

- ① 農場に持ち込む物品や出入りする車両を消毒すること。
- ② 農場には必要のない人は立ち入らせない、不要な物を持ち込まないこと。

【口蹄疫特有の疑わしい症状は直ちに通報を!】

口蹄疫の症状は発熱や食欲不振に始まり、後によだれを流したり、口、蹄、乳房に水ぶくれができるのが主な特徴です。

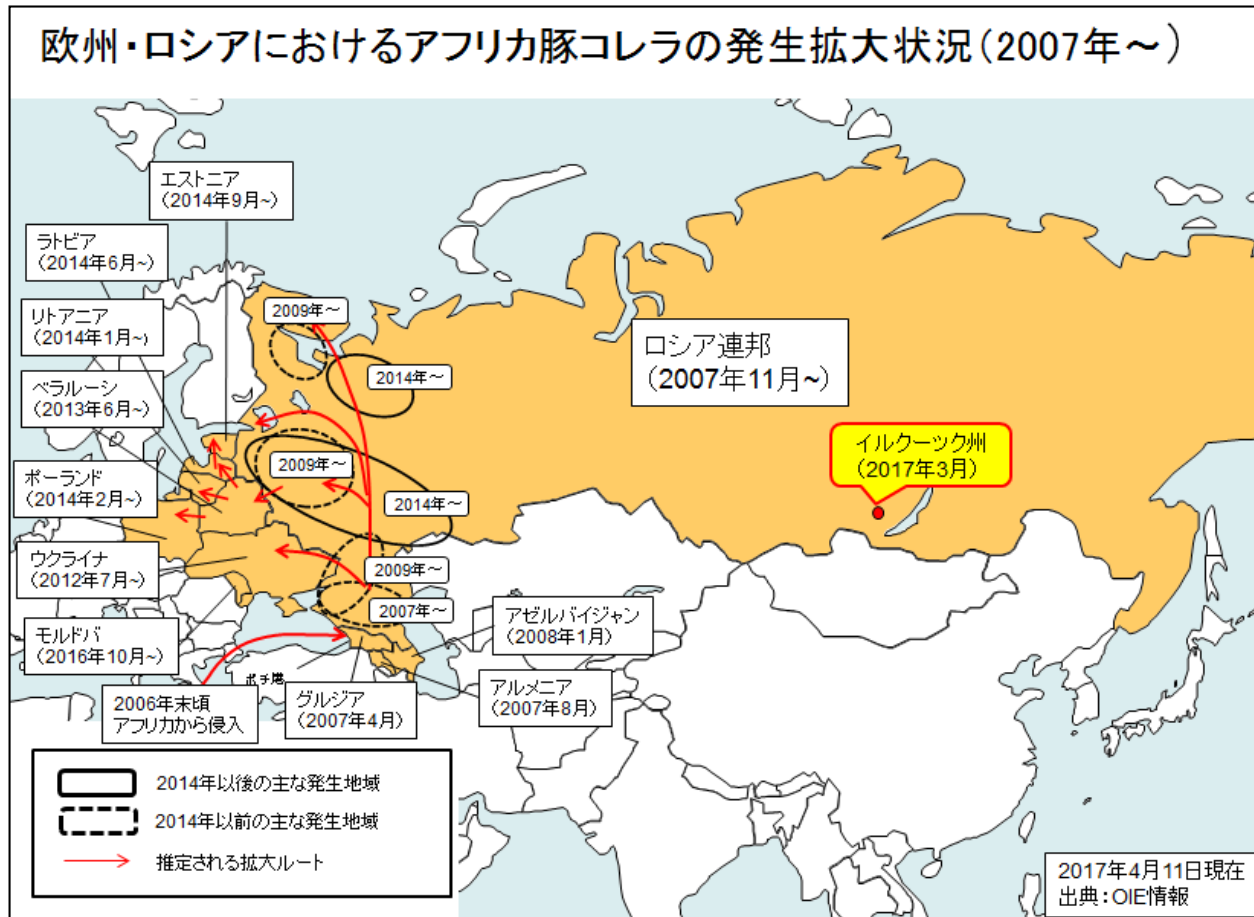
毎日必ず健康観察し、上記の症状を発見次第、すぐに家畜保健衛生所に連絡しましょう。

※裏面または別紙にて、アフリカ豚コレラに関する情報を掲載しています。

ロシアのイルクーツク州（モンゴル国境付近） でアフリカ豚コレラの発生を確認！

ロシアでは、2007年にアフリカ豚コレラが確認されて以降、飼養豚及び野生イノシシで発生が継続しており、発生地域が徐々に拡大しています。このような中、2017年3月、イルクーツク州で本病の発生が初めて確認されました！

我が国に本病が侵入するリスクが更に高まっています!!



アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典：USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

東庄町でPED発生! 今季15例目!!

〈概要〉

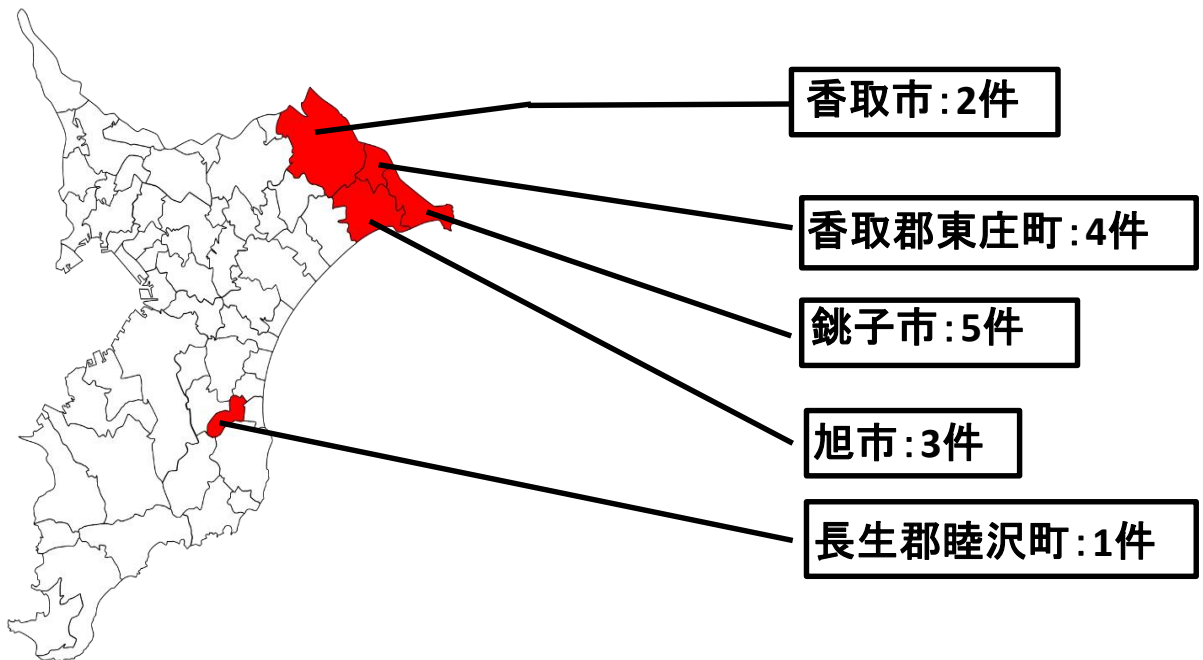
発生日：平成29年4月21日

発生農場：東庄町の1農場(約3,300頭飼養)

症状：哺乳豚180頭で水様性下痢。

死亡豚なし、PEDワクチン接種済。

〈平成28年9月以降から現在までのPED発生状況〉



以下の項目について、特に徹底願います!!



- ①農場出入車両の消毒(特に出荷時は確実に!)
- ②畜舎内立入者の衣服・靴の交換
- ③ワクチン接種

飼養している豚(哺乳豚、肥育豚、繁殖母豚問わず)で、下痢や嘔吐の症状を発見した場合は、すぐに家畜保健衛生所に連絡してください!

東部家畜保健衛生所 TEL.0475-52-4101

夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。
ゴールデンウィークも電話は繋がります。

☹️定期報告書を提出されていない方は早急に送付願います! ☹️

5月1日は『一斉消毒の日』です!

千葉県では、月1回「一斉消毒の日」を設定し、口蹄疫・HPAIの侵入リスク低減と地域全体の防疫意識向上を目指しています。皆様が日頃行っている消毒を自ら点検し、結果をFAXで当所まで送ってください!!

一斉消毒の日のチェック表

提出先:

東部家畜保健衛生所

FAX.0475-52-3335

PEDの発生が続いています。
農場内の衛生管理を徹底しましょう!



年月日: 平成 年 月 日

農場名:

住 所:

チェック	番号	項目	内容
<input type="checkbox"/>	1	出入車両消毒確認	飼料運搬・動物薬販売・診療獣医師などの出入り車両の消毒を確認します。
<input type="checkbox"/>	2	立入者衣服交換	畜舎等衛生管理区域に立ち入る獣医師・袋飼料配送業者などの専用衣服への着替えを確認します。
<input type="checkbox"/>	3	消石灰散布	農場入口に石灰帯(全体的に白くなるよう散布)を作ります。
<input type="checkbox"/>	4	踏込み消毒槽点検	畜舎・事務所入口の踏込み消毒槽を点検し、消毒薬を確認します。
<input type="checkbox"/>	5	畜舎消毒	空の豚房、通路などを清掃し、動力噴霧器で洗浄・消毒します。
<input type="checkbox"/>	6	整理・清掃	畜舎周囲の不要品の片付け、除草を行います。
<input type="checkbox"/>	7	チェック表送付	このチェック表を家畜保健衛生所に送付します。